

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)の説明および同意書

氏名: _____

検査日: 令和 年 月 日

説明医師氏名: 赤澤 祥弘 ㊞

医療職同席者氏名: _____

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)についての説明

- ・上部消化管内視鏡(胃カメラ)は、食道・胃・十二指腸の病気(炎症、潰瘍、ポリープや癌など)を診断したり、貧血や腹痛などの原因を調べたりすることを目的として行われます。
- ・喉頭麻酔を行い、内視鏡を口や鼻から挿入して食道・胃・十二指腸を観察します。
- ・検査中に口の中に溜まってくる唾液は飲み込まずに垂れ流して下さい。
- ・検査中に異常が疑われる場合は、色素を散布したり良性・悪性の診断や、ヒ・ロリ菌感染の診断の目的のために組織の一部を採取(生検)する精査を行います。
- ・口から内視鏡検査を行った場合、嘔吐反射が高頻度で起こります。その場合、より安全で楽に検査が施行できるように、鎮静剤の注射等を使用する場合があります。鎮静剤を使用した場合は、検査当日は自転車・バイク・車等の運転は控えて下さい。
- ・検査時間は生検施行の有無等によって変わりますが、約10分程度です。
- ・血圧が180mmHg異常の場合は医師の判断により中止になる場合があります。

偶発症

内視鏡の偶発症として、以下のようなことが報告されています。

- ・出血:0. 1%未満(約1,000人に1人未満)
- ・穿孔:0.001%未満(約100,000人に1人未満)
- ・ショック:0.001%未満(約100,000人に1人未満)

このような場合には、止血処置、輸血、外科手術あるいは蘇生処置などの緊急処置が必要になることがあります。

検査全体での死亡率は0.001%未満(約100,000人に1人未満)と報告されています。

同意書

私は、上部消化管内視鏡検査に関して、その必要性と合併症の説明を受け理解しました。

私は上部内視鏡検査を受けることに同意します。

また、万一、偶発症・合併症を生じた場合には、必要な処置を受けることに同意します。

_____ 年 月 日

患者本人または代理人氏名 _____ (続柄)

親族等同席者氏名 _____ (続柄)

(医)久晴会 わかみや内科消化器外科クリニック 院長殿

【病院控え】